

平成30年第8回

幸手市教育委員会定例会会議録

招 集 期 日	平成30年8月21日(火) 午前9時30分					
開 会 場 所	幸手市立南公民館 会議室・講座室					
開会の日時・宣告者	平成30年8月21日(火) 午前9時30分			山西 実		
閉会の日時・宣告者	平成30年8月21日(火) 午前11時52分			山西 実		
出席 状況	職 名	氏 名	摘 要	職 名	氏 名	摘 要
	教 育 長	山 西 実	出席	教 育 委 員	前 田 一 郎	出席
	職務代理者	中 根 政 美	出席	教 育 委 員	満 木 信 吉	出席
	教 育 委 員	尾 島 紗 緒 里	出席	教 育 委 員	齊 藤 一 夫	出席
傍聴人：2人				書 記：大 竹 孝 典・河 口 奈 緒		
議 事 参 与 者	職 名	氏 名	職 名	氏 名		
	教 育 部 長	小 森 谷 進				
	総 務 課 長	長 田 広				
	指 導 課 長	堀 越 成 夫				
	社会教育課長	尾 崎 武				
	総 務 課 主 幹	大 竹 孝 典				

会議事件名	顛末
<p>開 会 午前9時30分</p> <p>日程第1 幸手市立南公民館の 運営状況等について</p>	<p>教育長 開会を宣する。</p> <p>南公民館長 南公民館の運営状況等について、資料により説明する。 《質疑》</p> <p>満木委員 夏のお話会は大変素晴らしいので、もっと頻繁に開催して いただきたい。それから書道教室の話があったが、読み書 きそろばんは大事なので、教員の経験を生かして、そろば ん教室の様な講座も開催していただきたい。</p> <p>南公民館長 集会所事業については今後、12月に料理教室を2回、お楽 しみ会を1回の開催を予定している。今年度は、これに代 わるものとして、利用者による劇なども考えている。</p> <p>中根職務代理者 子ども達が公民館を利用するようになると活気が出てく るとともに、高齢者が孫の作品を見る機会を作れると思 う。今後も学校との連携を生かしていただきたい。 質問だが、先程ご説明いただいた「さいかつボール教室」 の「さいかつ」の意味を教えてください。</p> <p>社会教育課長 「さいかつ」は「埼玉地区」から由来しており、埼玉地区 のスポーツ推進委員が企画して考えた埼玉発祥のNEW スポーツである。昨年も大会が開催されており、ボールが 予測不能なバウンドをする、老若男女が楽しめるスポー ツなので、機会があったら是非、ご参加いただきたい。</p> <p>齊藤委員 以前、体育室のカーテンの状態が悪いとの話があったが、 現在はどうか。</p> <p>南公民館長 今年度、予算の配当をいただいているので、カーテンの取 り付けを早急に行いたい。</p>

<p><b>日程第 2</b> <b>前回会議録の承認</b></p>	<p>教育長 平成 30 年第 3 回教育委員会臨時会の会議録及び平成 30 年第 7 回教育委員会定例会の会議録の内容について質問を求めらる。      ≪質疑≫ 質疑なし。      ≪承認≫ 全員異議なく承認。</p>
<p><b>日程第 3</b> <b>教職員の働き方改革 と校務の I C T 化に ついて</b></p>	<p>指導課長 教職員の働き方改革について、資料等に基づき説明する。      総務課長 校務の I C T 化の概要について説明する。      大竹主幹 校務の I C T 化の現状や経緯、今後の動向等について、資料等に基づき説明する。      ≪質疑≫      前田委員 東部地区市町での統合型校務支援システムの導入内訳を詳しく伺いたい。      大竹主幹 幸手市は、行田市、加須市、羽生市、春日部市、蓮田市、越谷市、八潮市、白岡市、宮代町、久喜市、杉戸町、松伏町、吉川市、三郷市を含む 15 市町で構成される東部地区に属している。このうち、幸手市を除く 14 市町に校務支援システムの導入状況についてアンケート調査を行い、今日現在、11 市町から回答をいただいた。このうち、全校に同じ統合型校務支援システムを導入していると回答があったのが、加須市、羽生市、蓮田市、越谷市、宮代町、三郷市の 6 市町である。      前田委員 幸手市は、全教職員に校務用パソコンを整備しているとのことだが、他の 14 市町の整備状況はどうか。      大竹主幹 今回のアンケートは、幸手市の教職員が異動する東部地区市町の校務支援システムの導入状況と、どのメーカーのシステムが導入されているか等を把握するための調査であり、校務用パソコンの整備状況については照会していないため、不明である。</p>

教育長

正確なデータではないが、近隣で一人1台の校務用パソコンが整備されていないのは、杉戸町ではないか。

満木委員

幸手市は、全教職員に校務用パソコンの整備がされており、ハード面については充実しているが、統合型校務支援システムが導入されていないという点では、十分な支援がなされていないと思う。

文部科学省が出している「校務支援システム導入・運用の手引き」によると、システムの調達にはサービス調達と物品調達の二種類があるが、物品調達を優先して後からソフトを導入しようとする、ソフトが合わないことがあるので、サービスの調達をする業者が指定するハードを導入することが重要だと書かれている。

また、統合型校務支援システムには様々な機能があるが、特に役立つと言われているのは、学籍管理、成績管理、週案・時数管理、保健管理、グループウェアである。幸手市は、保健管理とグループウェアは導入されているが、他の機能については統合型のシステムが導入されていないので、教職員の校務業務の省力化は図られていないということをしつかりと認識していただきたい。

これら基本機能の外にもシステムを補完する機能としてCMS(Webコンテンツ・マネジメント・システム)があげられる。CMSを導入することで、全ての学校がリアルタイムで簡単にホームページの更新をすることができるようになる。

最後に、導入促進への体制については、教育委員会や学校の管理職による積極的なリーダーシップと、校長による現場の意識改革が必要だと書かれているが、まさにそのとおりだと思う。また、学内リーダーの設定について、校務業務に精通した教員を定めるよう書かれているが、システムの選定に当たっては、教育長と校長、校務業務に精通した教員と電算に詳しい教員を含めてやっていただきたい。

文部科学省が示す「教育の情報化のビジョン」では、平成32年度までに全ての学校に校務支援システムを普及させることとしているが、統合型校務支援システムを導入することで、教職員の校務業務の省力化は大幅になされると私は確信しているので、幸手市は是非、間に合うよう進めていただきたい。

	<p>教育長 ソフト選定の進捗状況について、事務局から説明はあるか。</p> <p>総務課長 まずは統合型校務支援システムの概要を把握するため、6月下旬に教育委員会の担当課で大手2社のデモンストレーションを見たが、このあと、9月21日に市内小・中学校の管理職を含め改めてデモンストレーションを開催することになっている。</p> <p>次年度の9月末には、現在導入している機器等のリース契約が満了となることから、統合型校務支援システムの導入について教育委員会と学校的意思統一がなされれば、11月の次年度当初予算編成で要求していきたいと考えている。</p> <p>教育長 検討委員会の構成メンバーには、満木委員からご指摘があったような方々を入れて、教職員の校務業務の省力化、また仕事の効率化に繋がるよう形での検討を進めていただきたい。</p> <p>満木委員 今、総務課長から話があったように、手順としては確かにまずシステムを知ってもらうところからだと思うが、間違いなく校務業務の省力化が図られるので、言葉は悪いがやはり導入ありき進めていただきたい。</p> <p>導入事例によると、大阪市では導入後、教員の校務時間が年間168時間、姫路市では通知表の作成時間が約9時間軽減され、9割以上の教職員が統合型校務支援システムの導入効果を感じているとの報告がある。</p> <p>導入することを大前提として教育長や校長に推進していただくとともに、教育長には一番いいシステムを導入して校務業務の省力化をし、児童・生徒と向き合う時間を創出するよう号令を発していただきたいと思っている。</p> <p>総務課長 今回の動きは総務課が主体となり、導入を前提として検討している。デモンストレーションを見ても学校側から不要と言われればそれまでだが、時代の流れからいけばそういうことはなかなか起こりづらいと思う。運用するのはあくまで教職員なので、教職員自身が一番使いやすいものを選定いただき、これを購入できるよう事務局としてバックア</p>
--	--

ップしていくこととなる。

満木委員

1年以上、教育委員を務めて、教職員がいかに忙しいかを改めて認識させられている。先程から何度も申し上げているが、トップに立つ人間が統合型校務支援システムの必要性を十分認識いただき、推進していかないと、既に東部地区の6市町で導入しているにもかかわらず、幸手市はハードしか整備されていないというのは残念である。

教育長

前は、予算上の問題もあり、その範囲で整備したが、今回は近隣市町の動向も踏まえ、中身の整備についても併せて検討していきたい。

満木委員

今、選定されている2社については、一般財団法人全国地域情報化推進協会(APPLIC)の「教育情報アプリケーションユニット標準仕様」を満たしているのか。また、システムを導入して使わなくなる一番の要因は、使っているときに操作が分からなくなることである。導入の手引きにも研修会の実施や、ICT支援員、ヘルプデスクの活用が重要と書かれている。私たちが一番助かるのは、ヘルプデスクに電話すると、リモートで操作してもらいながら電話で教えてもらえることである。2社に絞った理由と、サポート体制も備えたシステムなのかを伺う。

大竹主幹

「教育情報アプリケーションユニット標準仕様」は2社とも要件を満たしている。また、導入後のサポート体制については、導入当初や、年次が変わることによる異動で使い方が分からない教職員が出ることが想定されることから、サポートも含めた形でのリース契約を検討していく予定である。

中根職務代理者

ハードよりソフトの調達が先という大前提が大変勉強になった。そういった考え方で整備が進めば良いと思う。意見が二点ある。一点目は、システムを導入することで校務業務の省力化がなされることは、働き方改革に繋がると思うが、人の配置についても併せて検討いただきたい。二点目は、中学校の部活動の指導も大きな課題になっていると思うので、既に教育委員会で検討を進めているかとは

	<p>思うが、コミュニティスクール導入による地域の教育力の活用という視点からも働き方改革に繋げてほしい。</p> <p>最後に、満木委員からも話があったが、子どもと向き合う時間の確保をねらいとして進めていただきたい。</p> <p>指導課長</p> <p>事務量を減らすという点については先程お話したが、スクールサポートスタッフ事業で人の配置を検討していく予定である。</p> <p>また、部活動の指導については先程、ガイドラインの話をさせていただいたが、子ども達の負担を減らす観点から休養日を設けるということも考えている。これに併せて教職員の業務時間を平日何時間と言う形で限定をしていく取組も検討していかなければならないと思っている。</p> <p>また、地域の教育力の活用については、これまでも学校応援団等で地域の力をお借りしていたが、中根職務代理者からお話があったように、コミュニティスクールの導入により地域の教育力の活用が更に進められるのではないかと考えている。</p> <p>中根職務代理者</p> <p>先程、満木委員から話があったが、法律が変わらないと事務量が減らないということもあるので、法の整備や県内他市町村との連携も含め、情報収集しながら進めていただきたい。</p>
<p><b>日程第 4 議事</b></p>	<p>教育長</p> <p>議案第 20 号・第 21 号は、採択結果を公開することが望ましくないため、また、専決報告第 21 号は、人事案件のため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 14 条第 7 項により、非公開審議とすることについて諮る。</p> <p>教育長及び出席委員</p> <p>全員異議なし。</p> <p>教育長</p> <p>非公開を決定する。</p>
<p><b>議案第 17 号 幸手市立学校設置条例</b></p>	<p>総務課長</p> <p>議案書により説明する。</p>

<p>の一部を改正する条例</p>	<p>教育部長 追加説明する。</p> <p>《質疑》</p> <p>前田委員 以前、吉田幼稚園の今後の方向性について審議した際、60万円ほどの未納金があるとの話があったが、それはどうなるのか。</p> <p>指導課長 未納の部分については、「現に納入されていないものについては従前の例による」こととなり、引き続き徴収を行っていくことになる。</p> <p>総務課長 条文は廃止されるが、未納の部分について既に請求をしているものについては、廃止される前の例により条文に則って徴収する。</p> <p>前田委員 それは分かっている。未納金を徴収する努力はしているのか。</p> <p>指導課長 督促の手紙等を送るなどして徴収を進めている。</p> <p>前田委員 廃止まで4年弱あるので、その間に未納金がゼロになるという予測でよいか。</p> <p>総務課長 ゼロにしたいと思っている。</p> <p>教育部長 廃止になるまでまだ期間があるので、新たに発生する保育料については未納を失くすとともに、既に未納となっているものについては、滞納整理等行いながら未納の圧縮を図っていきたいと考えている。</p> <p>尾島委員 市から示された決定通知のなかで、「…支援を要する幼児が私立幼稚園等で円滑に教育を受ける機会を得られるよう、市として支援措置を講ずる。」とあるが、障がいを持った子どもを私立幼稚園が受け入れず、吉田幼稚園で受け入れてきた事実があるので、保護者としても大事な選択肢が一つ減ることになるので、支援措置をしっかりと行っていただきたい。</p>
-------------------	---

<p><b>議案第 18 号</b> 平成 30 年度幸手市一般会計補正予算（第 3 号）教育費の要求について</p>	<p>教育部長 障がいを持った子どもに対する支援については重要な課題として、この決定に至るまでの間、政策会議等で議論されてきた。今後、子ども支援課が私立幼稚園関係の窓口となるので、教育委員会としては、今後もしっかりとした支援措置を講じていただけるよう要請していく。</p> <p>教育長 条例が可決した後には、教育委員会の様々な規則の改正等について、改めてご提案させていただき、ご審議いただくこととなる。 《採決》 全員異議なく原案どおり議決。</p> <p>教育部長 議案書により説明する。 《質疑》</p> <p>前田委員 （項）教育総務費（目）教育指導費（節）賃金の[臨時職員賃金]に計上されている額は、スクールサポートスタッフの賃金との話があったが、何人か。</p> <p>指導課長 各校 1 名の計 12 名を配置予定である。</p> <p>前田委員 （項）保健体育費（目）保健体育総務費のうち、（節）給料や（節）職員手当等が減額している理由は何か。</p> <p>総務課長 職員の給料と職員手当等は、次年度当初予算を編成する際、当年度の大体の人数で予算を組むことから、毎年 9 月議会の補正予算で、人事異動に伴う予算の組み替えを行うものである。</p> <p>前田委員 スポーツ振興課が無くなったことによる職員の分という捉え方でよいか。</p> <p>総務課長 スポーツ振興課は、今年度から社会教育課に統合され、スポーツ振興担当ができたが、昨年、スポーツ振興課が 4 名体制だったところを、スポーツ振興担当が 2 名体制となったことによる減額である。増額になっているところは、職</p>
---	---

<p><b>案第 19 号</b> 幸手市立図書館協議会 委員の任命について</p>	<p>員数の増や基本給の高い職員が配属になっているためである。</p> <p>齊藤委員 (項)保健体育費(目)体育施設費(節)工事請負費の[神扇グラウンド仮設トイレ設置工事]の要求について、規模を伺う。</p> <p>社会教育課長 神扇グラウンドは現在、野球のコートが2面あり、各コートに男性用小便器が2基、共用で使っている個室の大便器が2基の計8基がある。現在、女性専用が無いため、それを加味して女性専用の個室大便器を2基増設したいと考えている。</p> <p>齊藤委員 各コートに1基ずつということで良いか。</p> <p>社会教育課長 そのとおりである。</p> <p>満木委員 統合型校務支援システムを導入するのであれば、平成31年度予算に計上しなければ間に合わないと思うが、間に合うのか。また、電子化することで必要な法の整備をこの1年でやらないと、リース契約が満了する平成31年9月に間に合わないのではないか。是非とも予算要求と、必要に応じて法の整備を進めていただきたい。</p> <p>総務課長 当然、当初予算に間に合うように要求していく。フルスペックで全部の予算がつくかは別問題だが、教育委員会としては予算要求の準備に入っている。また、個人情報に係るものや、電算関係に特化した規則等が必要であれば、市の情報システム担当に確認して整備していく。</p> <p>《採決》 全員異議なく原案どおり議決。</p> <p>社会教育課長 議案書により説明する。</p> <p>《質疑》</p> <p>尾島委員 幸手市立図書館協議会について伺う。</p> <p>社会教育課長</p>
--	---

<p><b>議案第 20 号</b> 第 22 採択地区平成 31 年度使用小学校用教科用図書の採択について</p>	<p>図書館協議会は図書館法に規定されており、これに基づき条例を定め、図書館の運営や事業について審議いただく機関となっている。構成員は、学校教育関係、社会教育関係、学識経験関係者で構成されている。</p> <p>《採決》 全員異議なく原案どおり議決。</p> <p>教育長 ここからは、非公開案件となるため、傍聴人の退席を促す。 【 傍聴人退室 】</p> <p>指導課長 議案書により説明する。 《非公開議案の審議》 《採決》 全員異議なく原案どおり議決。</p>
<p><b>議案第 21 号</b> 第 22 採択地区平成 31 年度使用中学校用教科用図書の採択について</p>	<p>指導課長 議案書により説明する。 《非公開議案の審議》 《採決》 全員異議なく原案どおり議決。</p>
<p><b>専決報告第 21 号</b> 幸手市教育委員会教育長の専決処理に対する報告について</p>	<p>総務課長 議案書により説明する。 《非公開専決報告の質疑》</p> <p>教育長 非公開を解除とする旨、宣する。</p>
<p><b>専決報告第 22 号</b> 幸手市教育委員会教育長の専決処理に対する報告について</p>	<p>社会教育課長 議案書により説明する。 《質疑》質疑無し</p>
<p><b>日程第 5</b> <b>行政報告</b> 1 教育長報告</p>	<p>教育長</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 各種教育長会議等</li> <li>2 各種研修会等</li> </ol>

<p><b>2 事務局からの 主要な報告</b></p>	<p>について資料により説明する。</p> <p>総務課長 平成 30 年度学校給食コンクール 自由献立部門 協賛団体賞 -幸手市立小中学校学校栄養士チーム-</p> <p>指導課長 1 市内中学校部活動の各種競技大会の結果 2 8月下旬から9月上旬お主な行事予定</p> <p>指導課長（吉田幼稚園） 1 7月の行事 2 8月の行事・研修予定</p> <p>社会教育課長 1 駐日ベナン共和国特命全権大使と「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした交流事業の合意書」を締結 2 第 18 回市史講座 3 電車DE清水公園～ぶらり大冒険～ 4 第 11 回ランチタイムコンサート 5 第 58 回幸手市文化祭第 2 回実行委員会</p> <p>社会教育課長（公民館） 1 書道入門講座 2 親子で楽しいお菓子作り体験講座 3 暮らしに役立つ現代マナー講座 4 スマートフォン・タブレット講座 5 大人のお菓子作り体験講座 6 修繕工事 7 7月の利用状況</p> <p>社会教育課長（図書館） 1 報告事項 2 利用状況 3 今後の事業予定 4 予約の多い図書（上位 5 冊） 5 購入図書リスト</p> <p>社会教育課長（体育施設） 1 利用状況 2 8月の主な行事予定</p> <p>について資料により説明する。</p>
----------------------------------	---

<p><b>日程第 6</b> <b>その他</b> <b>1 全国及び埼玉県</b> <b>学力学習状況調査</b> <b>の報告</b></p>	<p>《質疑》</p> <p>満木委員 「電車DE清水公園～ぷらり大冒険～」と「カブトムシを探そう」は、自然の不思議に小さい頃から向き合う体験でとても素晴らしい。自分も小さい頃、森に連れて行ってもらった体験が鮮明に残っている。こういう体験を増やしていただくことは素晴らしい。是非、回数も増やしていただきたい。</p> <p>社会教育課長 そのように努めてまいりたい。</p> <p>満木委員 日本に来た宣教師が、日本の子ども達は昆虫の一挙手一投足を観察しており、なんて知能が発達している子ども達だろうと思った、と書いてある書籍がすごく印象的だった。ゲームとは全く違うあの繊細な動きを直に体験することがいかに大切か、ということを教えてもらった。是非、こういう機会を増やしていただき、ゲームより楽しいものがあるということを知っていただきたい。</p> <p>社会教育課長 「ゲームより楽しいものがある」という言葉を刻んで、取り組んでまいりたい。</p> <p>齊藤委員 第 18 回市史講座は、募集定員を超えたら参加できないのか。</p> <p>社会教育課長 会場は、市役所第二庁舎第 1 会議室となるが、定員 40 名に対して 1 回目の申込が 70 名を超えたため、机に二人掛けのところを三人掛けに変更して対応した。今後も会場に入れる限り、定員の枠を外して対応したい。申込の締め切りについてもまだ定員に余裕があれば、期限を過ぎても受け付けている。</p> <p>指導課長 9 月に実施された全国学力学習状況調査及び埼玉県学力学習状況調査の幸手市の結果について報告する。</p> <p>中根職務代理者 幸手市の学力向上に対する取組への印象だが、大きく変わ</p>
--	--

	<p>る契機になったと思う。特に感じるのは、全国学力学習状況調査で中学校の学力が低いという印象があったが、よく見ると1・2年生と3年生の学力に違いがあり、学年が上がるごとに学力が伸びている傾向にあるので、各学校の取組と教育委員会の取組に感謝を申し上げたい。</p> <p>満木委員</p> <p>大変素晴らしい結果で、教育長をはじめ、各学校の教員の努力に感謝する。活性化された脳を作るためには、読み書きそろばん徹底習熟と、昔の手を使うお手玉や手遊びを復活させる、また、ゲームやスマホに代表されるようなSNSをやってはいけない。</p> <p>また、高度な読解力を作るためには、浴びるような読書を幼児の頃から実践するとともに、教科書を読めるようにすることだと思う。新井紀子先生の「A I v s . 教科書が読めない子どもたち」によると、中学生の7割がテストの結果、読解できてないと書かれている。すなわち中学レベルの教科書を読める読解力を育てるということ、教科書を通してやっていただきたいと思う。具体的に言うと、それぞれの教科の内容に線を引き、声に出して読んで、特定の単語を書き出してみることで、そこに書いてある知識を習得できる技術を学ばしていただきたい。そうすることで、小学校、中学校、高校、大学と上がるたびに成績が上がっていくと思う。活性化された脳と高度な読解力をつけるという教育長の素晴らしい指針にいつも敬服しているが、結果が出てきているなかで是非、今言った二つのことを推進していただきたいと思う。</p> <p>各委員の意見を調整した結果、9月の定例会については、次のとおり決定する。</p> <p>第9回教育委員会定例会  日時 平成30年9月18日(火)  午前9時30分～  場所 幸手市立権現堂川小学校</p>
<p><b>2 次回定例会の日程について</b></p>	<p>満木委員</p> <p>今回の協議事項は、校務のICT化の面からどう教職員の</p>

**閉 会**  
午前 11 時 52 分

負担を軽減していくかという話だったが、部活動など別の視点でもできる施策を資料等で教えていただき、この場で論議させていただきたい。

総務課長

次回の協議事項については、働き方改革に係る部活動の関係を中心にご審議いただく。

教育長

閉会を宣す。

<p>ほか特に重要 と認める事項</p>	<p>な し</p>
	<p>上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p style="text-align: right;">平成30年 9月18日</p> <p style="text-align: center;">教 育 長 山 西 実</p> <p>署名</p> <p style="text-align: center;">署 名 委 員 尾 島 紗 緒 里</p>